

脱炭素ビルリノベ事業

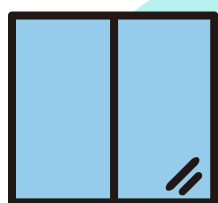
業務用建築物の脱炭素改修加速化事業

既存建築物のリニューアルをご検討のみなさまへ

設備費と工事費にかかる費用の

1/2~1/3 相当の定額を支援します

補助対象となる設備



断熱窓

ガラス交換、
内窓設置 等



断熱材

グラスウール、
硬質ウレタンフォーム 等



高効率空調

パッケージエアコン、
セントラル空調 等



制御機能付き LED照明器具

LED照明器具、
制御装置 等



BEMS

エネルギー管理システム

公募
期間

2024年3月29日～ 2024年12月27日

交付決定額の合計が予算額に達した場合、公募期間内であっても交付申請の受付を終了します。

申請を受け付け、審査が終了次第、随時採択の決定を行います。

* 既存建築物の環境性能によっては、いずれかの設備導入でも申請できます。

補助金活用の メリット

1

工事費も含んだ
定額補助の設定

設備費+工事費での補助額となっています。
さらに定額補助なので相見積もりも不要！

2

複数年で改修工事を
中断することなく対応可能

最大3年間での補助事業の実施が可能！

3

第三者認証※を取得するため
テナントオーナーへの訴求あり

※ BELS認証

環境に配慮した建築物を求める
テナントや投資家は増加傾向！

補助対象 建築物

事務所



ホテル



病院



百貨店



学校



飲食店



図書館



体育館



映画館



など

※ 建築物省エネ法上の基準省令で定められた用途および対象用途の具体例に準じます。
詳細は、公募要領をご確認ください。

補助額

上限額

1事業あたり 10億円

下限額

1事業あたり 500万円

本補助金を活用して建築物を改修する場合のイメージ

6,000万円の改修費用

実質3,700万円の
改修費用

2,300万円※の補助金

※補助金額はあくまでも参考です。

設備費と工事費に係る費用の
1/2~1/3相当の
定額補助

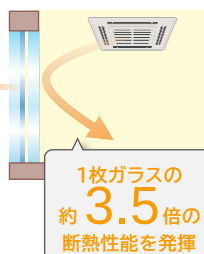
設備導入の メリット

断熱窓

外皮の
高断熱化

窓からの熱の出入りを防いで、暑い夏も、寒い冬も室内の快適性を維持

1.7
W/(m²・k)



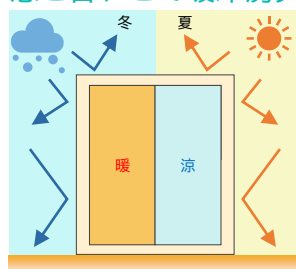
▶ 既存の単板ガラスからLow-E複層ガラスや真空ガラスなどの「断熱窓」に交換することで高断熱化を実現。内窓を設置すれば、遮音性能も大幅に改善。

1枚ガラスの約3.5倍の断熱性能を発揮

断熱材

外皮の
高断熱化

躯体からの熱の出入りを防いで、窓と合わせて暖冷房負荷を軽減



断熱材

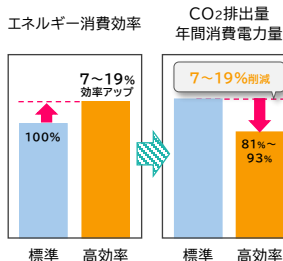
▶ 既存の建築物の躯体の外壁や屋根・天井、床などに高性能な断熱材を施工することで、暖冷房負荷を軽減し、快適な室内環境とすることが可能。

エネルギー消費量の削減、暮らしの質の向上

高効率空調

高効率
設備の導入

高効率空調の採用で、施設エネルギー約40%を占める空調の省エネを実現



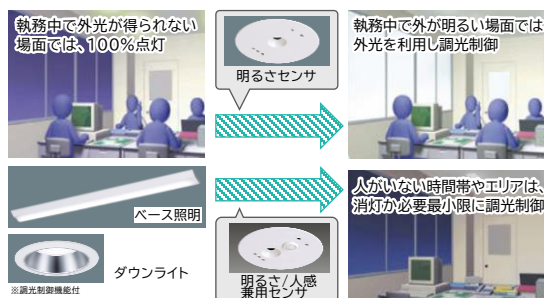
▶ 高性能な機器(圧縮機、凝縮器、蒸発器、ファンモーター)の採用や高度な冷媒やインバーターの技術により高効率化を達成。

CO₂排出量と年間消費電力量を7~19%削減

制御機能付きLED照明器具

高効率
設備の導入

明るさセンサと人感センサによる自動調光制御でかしく省エネ



明るさセンサ連動調光で消費電力30%削減

※条件① 明るさセンサ利用時間帯比:50% 条件②明るさセンサ利用時平均電力比:60%

エネルギー管理システム(BEMS)

エネルギーの
管理・分析

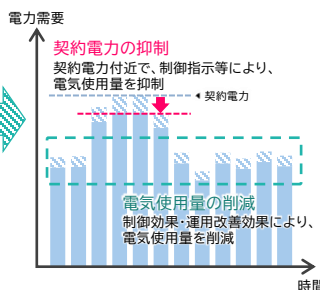
エネルギーの使用量を見える化し、ビルの省エネ・コスト削減を推進。

BEMSの活用イメージ



▶ BEMSを活用し、見える化したデータを基に、使用量の削減目標や省エネ対策を設定、対策を実施して効果を確認、さらに改善策を検討するといったサイクルにより継続して省エネに取り組むことが可能。

コスト削減イメージ



▶ BEMSの導入により、電気使用量/デマンドの監視及び制御が可能。

試算条件(導入前)
契約電力 : 220kW
年間電気使用量: 450千kWh/年
電力料金単価 : 22.76円
(新電力ネット 電気料金単価の推移)
計測対象 : 空調・照明・OA
制御対象 : 空調
※ 基本料金は力率100%で算定。
※ 燃料調整費、再生可能エネルギー発電促進賦課金は含まない。

契約電力の抑制 約9.1% 38.5万円/年 削減

電気使用量の削減 約10% 100万円/年 削減

※あくまでシミュレーションの一例になります。

活用方法の オススメ

事務所の場合



導入設備			
設備	仕様		
外皮断熱	外壁	ウレタンフォーム断熱材／フェノールフォーム断熱材	
	屋根	ウレタンフォーム断熱材	
	窓	Low-E複層ガラス／金属樹脂複合製	
空調	機器(熱源)	パッケージエアコン／全熱交換器	
	システム	－	
照明	機器	LED照明器具	
	システム	在室検知制御／明るさ検知制御	

省エネルギー性能			
一次エネルギー消費量(MJ/年㎡)			BPI/BEI
	基準値	設計値	
PAL *	470	317	0.68
空調	1,051.21	430.04	0.41
照明	359.69	76.24	0.22
削減コスト	231	万円/年	

1052	360	431	77
基準値		設計値	

※ 削減コストは、電力利用額:1kWh当たり20円、ガス利用額:1㎡当たり85.5円を乗じた値

老人ホームの場合



導入設備			
設備	仕様		
外皮断熱	外壁	ウレタンフォーム断熱材／グラスウール断熱材	
	屋根	ポリスチレンフォーム断熱材	
	窓	－	
空調	機器(熱源)	ビルマル(EHP)／パッケージエアコン／外気処理IPJ／全熱交換器	
	システム	外気取入れ量制御システム(CO ₂ 制御)	
照明	機器	LED照明器具	
	システム	在室検知制御／明るさ検知制御／タイムスケジュール制御	

省エネルギー性能			
一次エネルギー消費量(MJ/年㎡)			BPI/BEI
	基準値	設計値	
PAL *	598	574	0.96
空調	1,061.57	615.26	0.58
照明	440.29	106.06	0.25
削減コスト	1,148	万円/年	

1062	441	616	107
基準値		設計値	

※ 削減コストは、電力利用額:1kWh当たり20円、ガス利用額:1㎡当たり85.5円を乗じた値

学校の場合



導入設備			
設備	仕様		
外皮断熱	外壁	ロックウール断熱材	
	屋根	ポリスチレンフォーム断熱材	
	窓	Low-E複層ガラス／金属製	
空調	機器(熱源)	全熱交換器組込型空調機／ビルマル(EHP)／マルチ冷却塔	
	システム	井水熱利用システム(空調・トボ・ワ)／外気冷房システム 等	
照明	機器	LED照明器具	
	システム	タイムスケジュール制御／在室検知制御	

省エネルギー性能			
一次エネルギー消費量(MJ/年㎡)			BPI/BEI
	基準値	設計値	
PAL *	541	414	0.77
空調	947.18	453.35	0.48
照明	303.43	85.45	0.29
削減コスト	2,756	万円/年	

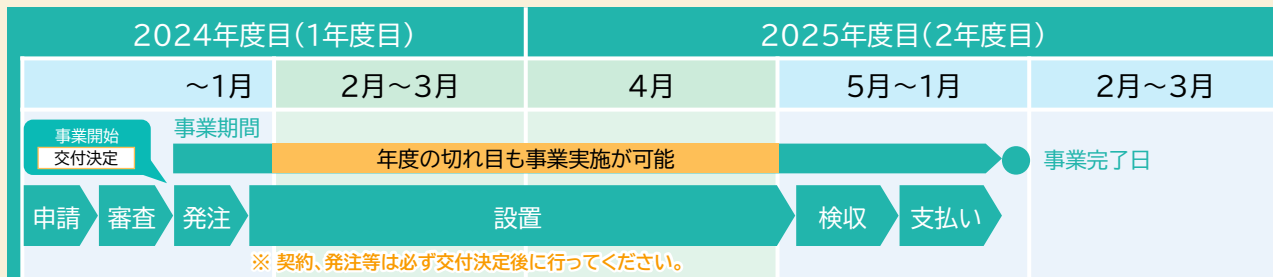
948	304	454	86
基準値		設計値	

※ 削減コストは、電力利用額:1kWh当たり20円、ガス利用額:1㎡当たり85.5円を乗じた値

※掲載画像はイメージです。
※あくまでシミュレーションの一例になります。

スケジュール

複数年度事業(2か年)の場合



よくある質問

Q 別の補助金との併用は可能ですか。

A 本事業を活用する場合も、他の国庫補助金への申請自体は可能です。
ただし同一設備に対して2つ以上の補助金を受け取ることはできません。

Q 補助対象製品(断熱窓、断熱材、高効率空調、制御機能付きLED照明、BEMS)を全て導入する必要がありますか。

A BEMSの導入は必須要件となります。その他の補助対象製品は全て導入する必要はありません。
適切な製品を導入し、外皮性能BPIが1.0以下及び建物用途毎のBEI要件を達成できるようにしてください。

Q 補助対象製品となっている「断熱窓」「断熱材」「高効率空調」「制御機能付きLED照明」「BEMS」はどの製品でも補助事業に使えますか。

A 特設WEBサイトの「型番検索」で表示される製品をご使用ください。

Q BPIやBEIの算定は補助対象ですか。

A 環境省事業のZEB補助金(非住宅建築物ストックの省CO2改修調査支援事業)が活用可能です。
詳しくは <https://siz-kankyoku.com/2024correctionco2/stock/> をご確認ください。

Q テナントとして店舗経営をしています。どのように申請すればよいですか。

A 商業用ビル等でテナント(店子)が設備所有者である場合は、建物所有者とテナント(店子)の共同申請としてください。
(公募要領17ページ参照)

留意事項

- 当資料は本事業の概略を説明するものです。申請にあたっては必ず公募要領等をご確認ください。
- 補助金申請にあたっては、インターネット環境が必要です。補助事業ポータルサイトにアクセスしてユーザ名を取得のうえ画面の内容に沿って必要事項の入力を行っていただきます。
- 補助金の交付決定の前に、既に契約、発注等がなされた事業は、交付対象とはなりません。
- 交付決定した事業者名、補助事業の概要等をSIIのホームページ等で公表します。
- 事業完了(設置完了、検収、支払完了)後、SIIに実績報告書を提出する必要があります。SIIの確定検査後に補助金を支払います。
- 導入した設備は、善良な管理者の注意をもって管理し、補助金の交付の目的に従って、その効率的運用を図る必要があります。
- 事業完了後、予め定められた期間、BEMSデータと共にSIIが指定する先に事業報告を行っていただく必要があります。
- 導入した設備を財産処分する場合は、予めSIIの承認を得る必要があります。補助金を返還いただく場合もあります。

公募に関するお問い合わせ・相談・連絡窓口

一般社団法人 環境共創イニシアチブ 脱炭素ビルリノベ事業担当

☎ **0120-102-912**

受付時間 平日10:00~12:00、13:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)



◀ 事業の詳細は
こちらより

<https://bl-renos.jp>



◀ まずは、
アカウント
登録から